

Rosemount™ 628 ユニバーサルガスセンサ

一体型ワイヤレスガス監視



IEC WirelessHART

安全に関する考慮事項

通知

本ガイドには、Rosemount 628 ワイヤレス・ガス・モニタの設定と基本的な取付け方法が記載されています。診断、保守、点検整備、トラブルシューティング、本質安全防爆 (IS) の設置で順、またはご注文方法は記載されていません。詳細については、[Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタのリファレンスマニュアル](#)を参照してください。

リファレンスマニュアルと本ガイドの電子版も [Emerson.com/Rosemount](https://www.emerson.com/Rosemount) で提供しています。

通知

本製品を操作する前に本書をお読みください。人またはシステムの安全性、製品性能を最適化するために、本製品を設置、使用、メンテナンスする前に内容を必ずよく理解してください。技術的な支援については、連絡先を以下に示します。

カスタマーセントラル

技術サポート、お見積、ご注文に関するお問い合わせ：

米国 - 1-800-999-9307 (午前 7 時～午後 7 時、中央時間)

アジア・太平洋 - 65 777 8211

欧州/中東/アフリカ - 49 (8153) 9390

北米対応センター

機器の点検整備のご依頼：

1-800-654-7768 (24 時間 — カナダを含む)

他の地域の場合は、お近くの弊社担当者にお問い合わせください。

▲ 警告

爆発

爆発すると、死亡または重傷に至るおそれがあります。

本装置を爆発性環境内に設置するには、適切な地方、国および国際基準、規約および慣行に準ずる必要があります。

爆発の危険性のある環境で携帯用通信機器を接続する前に、計器が本質安全または非本質安全現領域の配線方法に従って取り付けられていることを確認します。

▲ 警告

感電

感電により死亡または重傷に至るおそれがあります。

リード線や端子に触らないでください。リード線に高電圧が残留している場合、感電するおそれがあります。

▲ 警告

物理的アクセス

資格のない人員が取り扱うと、エンドユーザの機器への重大な損傷や設定ミスが生じる可能性があります。これは故意または過失で生じる可能性があるため、防止する必要があります。

物理的セキュリティは、セキュリティプログラムの重要な部分であり、システムの保護に不可欠です。エンドユーザの資産を保護するため、無資格者による物理的アクセスを制限してください。これは、施設内で使われるすべてのシステムが対象です。

▲ 注意

原子力用途

本書に記載の製品は、原子力施設認定用途向けに設計されていません。原子力施設認定ハードウェアまたは製品を必要とする用途に、非原子力施設認定製品を使用すると、読取値が不正確になります。

Rosemount の原子力施設認定製品については、弊社の販売代理店にご連絡ください。

目次

概要.....	5
センサを取り付ける.....	7
ベンチ構成.....	10
ガイド付きセットアップ.....	12
センサの校正.....	22
動作環境を確認する.....	44

1 概要

Rosemount™ 628 ワイヤレス・ガス・モニタは Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタと互換性があります。

センサは、工具を使わなくてもトランスミッタに完全に取り付けられます。センサモジュールをトランスミッタ・センサ・ハウジングに完全に固定したら、電気接続を行います。

注

Rosemount 628 汎用ガスセンサと Rosemount 928 トランスミッタと併用してください。

▲ 注意

保護等級（イングレスプロテクション）（IP）フィルタを取り付ける必要があります。

IP フィルタを取り付けない場合、Rosemount 628 汎用ガスセンサの内部のセンサが損傷する可能性があります。

センサモジュールに正しい IP フィルタを取り付けずにトランスミッタを稼働しないでください。

IP フィルタの取り付け時、IP フィルタガasketが所定の位置に適切に配置されていて、白いろ材を遮断していないことを確認します。☒ 1-1 を参照してください。

IP フィルタを扱う際は、ろ材に触らないようにしてください。

IP フィルタの脚を上方に押し上げることで、3本すべての脚が完全に固定されていることを確認してください。

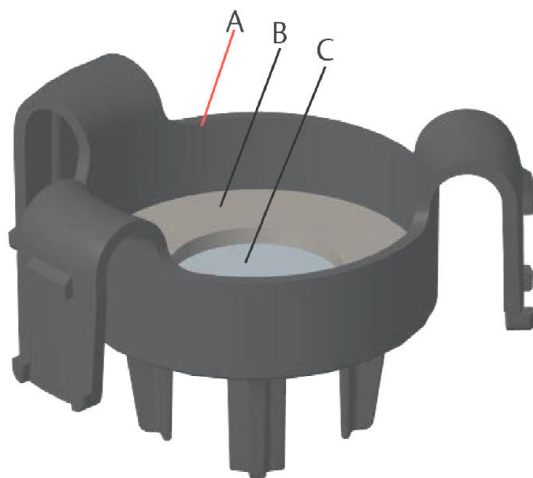
IP フィルタ内に水が入らないようにしてください。

IP フィルタを洗浄しないでください。

IP フィルタを水ですすいだり、水を吹きかけないでください。

IP フィルタを水に浸さないでください。

図 1-1: 防水・防塵保護フィルタ



- A. IP フィルタハウジング
- B. IP フィルタガasket
- C. ろ材

2 センサを取り付ける

センサは、密封するシールとスナップ接続を使って所定の位置に保持されます。2.1. の図に示すように、センサは、ハウジング底部に収まる2つのラッチタブでトランスミッタに接続されます。トランスミッタハウジングとセンサアセンブリ間のシールは、適切に取り付けられればこれら2つのアセンブリ間で密封するように設計されています。

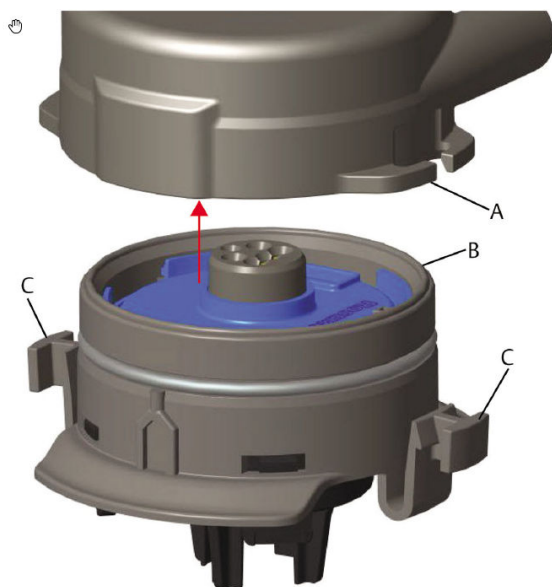
手順

1. センサを梱包から取り出します。
2. センサを初めてトランスミッタに取り付ける際には、トランスミッタ底部のセンサハウジングから保護用のプラスチックキャップを取り外します。
3. センサをトランスミッタに取り付ける前に、キーイングを所定の位置に回し、正しい位置になっていることを確認してください。
4. 完全に装着されるまで、センサアセンブリをトランスミッタハウジングにスライドさせます。

注

センサには、モジュールが誤った位置合わせでトランスミッタハウジング押し込まれないようにするキーイング機能が備わっています。

図 2-1: トランスミッタへのセンサの取付け



- A. Rosemount 928 トランスミッタハウジング
 B. Rosemount 628 汎用ガスセンサ
 C. ラッチタブ

- ラッチとシールを確実にはめるには、2つのラッチタブが完全にかみ合うまでモジュールを押し上げます。固定した後、各ラッチタブの底を押し上げます。
- 続行する前にトランスミッタをウォームアップします。
 ガスのタイプに基づく最大ウォームアップ時間については、次の表を参照してください。ウォームアップ時間中、表示される値、アラート、ガス濃度は実測値を反映しません。測定値は送信されません。

表 2-1: 最大ウォームアップ時間

ガスのタイプ	最大ウォームアップ時間
硫化水素 (H ₂ S)	1 分
酸素 (O ₂)	7 分
一酸化炭素 (CO)	1 分

次のタスク

センサを取り外すには、ラッチタブを押しつけ、トランスミッタハウジングから解放されるまで下方に引きます。

3 ベンチ構成

構成するには、動作するトランスミッタにセンサを取り付ける必要があります。トランスミッタは、ハンドヘルド Field Communicator または AMS Wireless Configurator からすべての HART® 通信を受信します。

後部ハウジングカバーを取り外して、端子台と HART 通信端子を露出させます。次に、電源モジュールを接続して、構成用のデバイスに電力を供給します。

3.1 Field Communicator を使ってベンチを設定する

HART® 通信には、トランスミッタの装置記述 (DD) が必要です。

ハンドヘルド通信機器を使ってトランスミッタを接続するには、[ガイド付きセットアップ](#) を参照してください。最新の DD を取得するには、[EmersonProcess.com/DeviceFiles](https://www.emerson.com/DeviceFiles) にアクセスして、ハンドヘルド機器の Emerson ウェブページにアクセスします。

手順

1. **Home (ホーム)** 画面で **Configure (設定)** を選択します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - **Configure (設定)** 画面で **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** を選択して、初期設定を確認または変更します。[ガイド付きセットアップ](#) を参照してください。各設定タスクについては、Field Communicator のサブセクションを参照してください。
 - **Configure (設定)** 画面で **Manual Setup (手動セットアップ)** を選択し、オプションの詳細設定を含むすべての設定を確認または変更します。Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタの [リファレンスマニュアル](#) の「**手動セットアップ**」の項を参照してください。各設定タスクについては、Field Communicator のサブセクションを参照してください。
3. 終了したら **Send (送信)** を選択して、設定の変更を適用します。
4. 設定が完了したら、端子台の COMM 端子から HART® 接続リードを取り外し、後部ハウジングカバーを元に戻します。

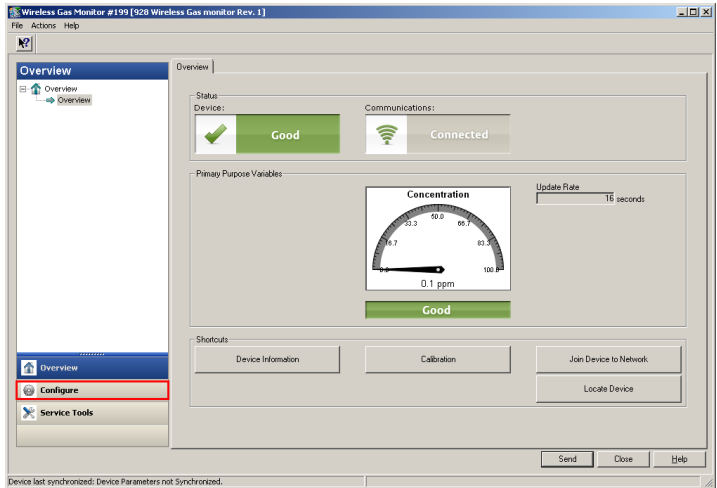
3.2 AMS Wireless Configurator を使ってベンチを設定する

AMS Wireless Configurator は HART® モデムを使用して、または Wireless Gateway を介して、デバイスに直接接続できます。

手順

1. **AMS Device Manager** ウィンドウで HART モデムを選択します。

2. 機器ウィンドウで、機器アイコンをダブルクリックします。
3. **Configure (設定)** を選択します。



4. **Configure (設定)** ウィンドウで、次のいずれかを実行します。
 - Guided Setup (ガイド付きセットアップ) を選択し、初期設定を確認または変更します。[ガイド付きセットアップ](#) を参照してください。各設定タスクについては、AMS Wireless Configurator のサブセクションを参照してください。
 - Manual Setup (手動セットアップ) を選択して、オプションの詳細設定を含むすべての設定を確認または変更します。Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタの[リファレンスマニュアル](#)の「[手動セットアップ](#)」を参照してください。各設定タスクについては、AMS Wireless Configurator のサブセクションを参照してください。
5. 終了したら **Send (送信)** を選択して、設定の変更を適用します。

4 ガイド付きセットアップ

ガイド付きセットアップでは、基本的な校正設定を行います。**Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** メニューは、初期設定時に役立ちます。

注

Emerson は、Emerson AMS Trex™ Device Communicator を使用して、Field Communicator ガイド付きセットアップ設定手順を作成しました。メニューは他の Field Communicators と同じですが、高速キーではなくタッチスクリーンを使用してナビゲートします。詳細については、ハンドヘルド・コミュニケーター・デバイスのマニュアルを参照してください。

▲ 警告

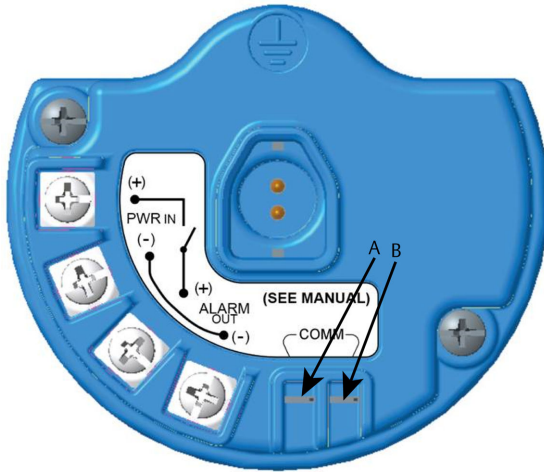
爆発

爆発性雰囲気があるときに COMM 端子への接続を行わないでください。

手順

1. HART® 通信リード線をハンドヘルドコミュニケーターの HART 端子に接続します。
2. HART 通信リード線をトランスミッタ端子台の COMM 端子に接続します。

図 4-1: トランスミッタ端子台

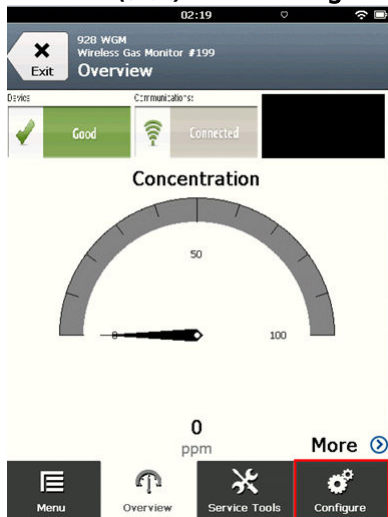


- A. +COMM 端子
- B. -COMM 端子

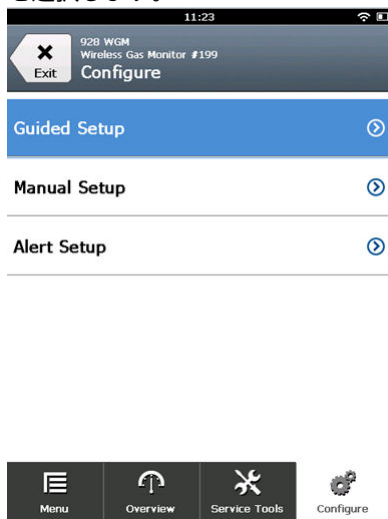
3. ハンドヘルド・コミュニケーター・デバイスを起動します。必要に応じて、ハンドヘルドデバイスで HART Field Communicator アプリケーションを開いて、HART 通信を確立します。

詳細については、ハンドヘルド・コミュニケーター・デバイスのマニュアルを参照してください。

4. **Overview (概要)** 画面で **Configure (設定)** を選択します。



5. **Configure (設定)** 画面で **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** を選択します。



次のタスク

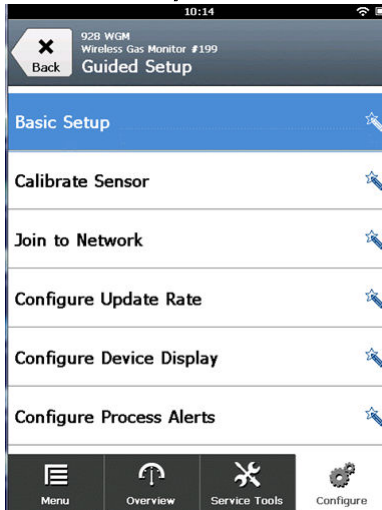
基本セットアップ～プロセスアラートの設定 を参照してください。

4.1 基本セットアップ

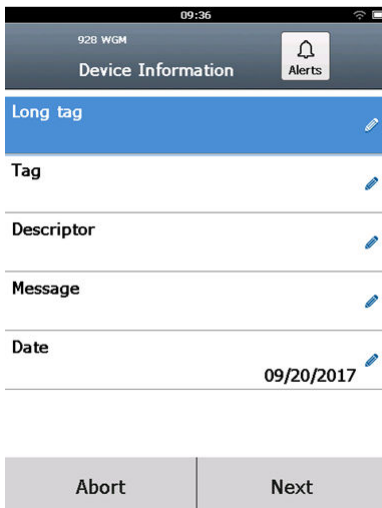
4.1.1 Field Communicator を使用した基本セットアップ

手順

1. **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** 画面で **Basic Setup (基本セットアップ)** を選択します。



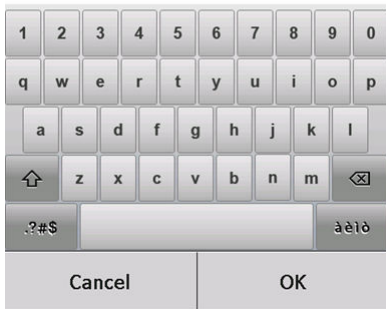
2. **Device Information (デバイス情報)** 画面で、次のいずれかを選択し、必要に応じて設定します。設定を行わない場合は、**ステップ 3** を続行します。



- 長いタグ：仮想キーボードを使用して、最大 32 文字の機器の識別子を入力します。Long tag (長いタグ) フィールドはあらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されません。



Wireless Gas Monitor #199



- タグ：仮想キーボードを使用して、最大 8 文字の大文字アルファベットと数字の機器の識別子を入力します。Tag (タグ) フィールドはあらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されません。



- 記述子：デバイスの記述を最大 16 文字のアルファベット、数字、特殊文字で入力します。Descriptor (記述子) フィールドは

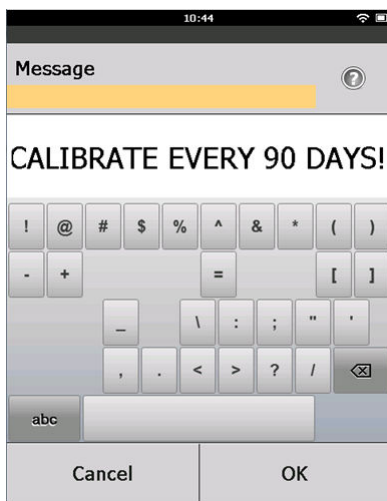
あらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されません。



TEST WGM



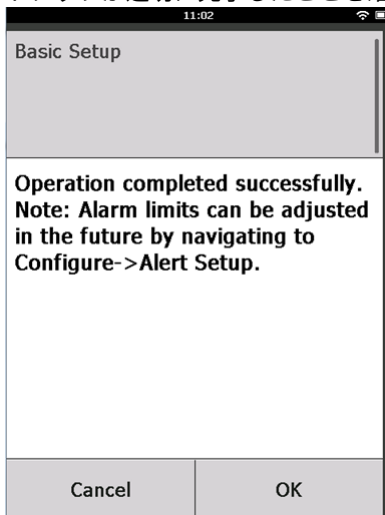
- メッセージ：メッセージを最大 32 文字の アルファベット、数字、特殊文字で入力します。Message (メッセージ) フィールドはあらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されず、あらゆる目的に使用できます。



3. **Device Information (デバイス情報)** 画面で **Next (次へ)** を選択します。



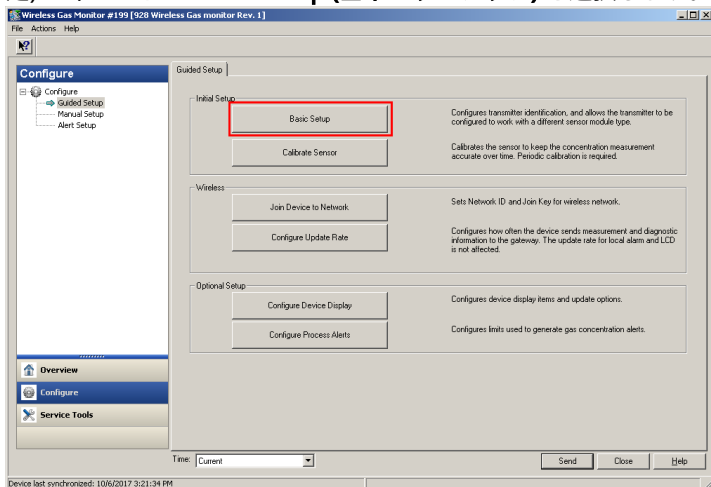
4. **Basic Setup (基本セットアップ)** 画面で **OK** を選択して、基本セットアップが適切に完了したことを確認します。



4.1.2 AMS Wireless Configurator を使った基本セットアップ

手順

1. **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** の Initial Setup (初期設定) フィールドで **Basic Setup (基本セットアップ)** を選択します。



2. **Device Information (機器情報)** タブで、必要に応じて次の設定を行います。設定を行わない場合は、**ステップ 3** を続行します。

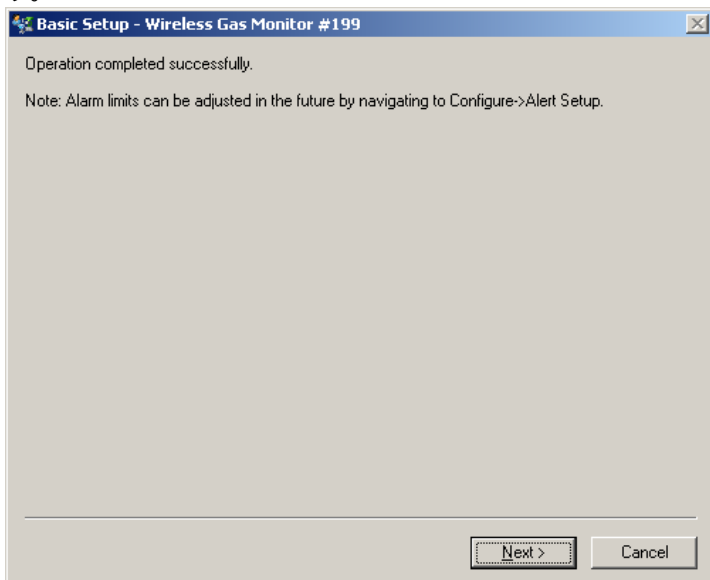
The screenshot shows a dialog box titled "Identification" with the following fields and descriptions:

- Long tag:** Wireless Gas Monitor #199. Description: Long Tag can have up to 32 characters.*
- Tag:** WGM#199. Description: Tag can have up to 8 uppercase characters.*
- Descriptor:** TEST WGM. Description: Description is a free form field with up to 16 uppercase characters.
- Message:** CALIBRATE EVERY 90 DAYS!. Description: Message is a free form field with up to 32 uppercase characters.
- Date:** 10/31/2017. Description: Date can be used for any purpose such as the last calibration date.

*A long tag and short tag are recommended for best performance.

- 長いタグ：仮想キーボードを使用して、最大 32 文字の機器の識別子を入力します。Long tag (長いタグ) フィールドは、あらかじめ空になっており、何も入力しない場合は表示されません。
- タグ：仮想キーボードを使用して、最大 8 文字の大文字アルファベットと数字の機器の識別子を入力します。Tag (タグ) フィールドはあらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されません。
- 記述子：機器の記述子を最大 16 文字のアルファベット、数字、特殊文字で入力します。Descriptor (記述子) フィールドはあらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されません。
- メッセージ：メッセージを最大 32 文字のアルファベット、数字、特殊文字で入力します。Message (メッセージ) フィールドはあらかじめ空になっていて、何も入力しない場合は表示されず、あらゆる目的に使用できます。

3. **Basic Setup (基本セットアップ)** 画面で **Next (次へ)** を選択します。



4. **Finish (終了)** を選択します。

5 センサの校正

センサを校正することで、アナログ、デジタル、個別の出力が、モジュールによって登録された標的ガス濃度が正確に送信されます。本機器は工場場で校正されていますが、正確さと正しい動作を保証するために、次の間隔で校正する必要があります。

- 取付け時
- 本機器の耐用年数を通じて、硫化水素センサの場合は少なくとも 180 日ごとに、一酸化炭素と酸素のセンサについては 90 日ごとに校正すること
- センサの交換時

Rosemount 928 汎用ガスセンサは、スマート機能を搭載したセンサです。そのため、独自の校正情報が保存されています。校正にはトランスミッタへの接続が必要です。校正の設定はトランスミッタではなくセンサ自体に保存されます。校正に影響することなく、センサをトランスミッタから取り外し、別のトランスミッタに取り付けることができます。

注

校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を、IP フィルタアセンブリ (部品番号 00628-9000-0001) の接続金具に直接取り付けます。

5.1 Field Communicator を使用した校正

注

Emerson は、Emerson AMS Trex Device Communicator を使用して、Field Communicator の手動セットアップの設定手順を本マニュアルで作成しました。メニューは他の Field Communicators と同じですが、高速キーではなくタッチスクリーンを使用してナビゲートします。詳細については、ハンドヘルド通信装置のマニュアルを参照してください。

▲ 警告

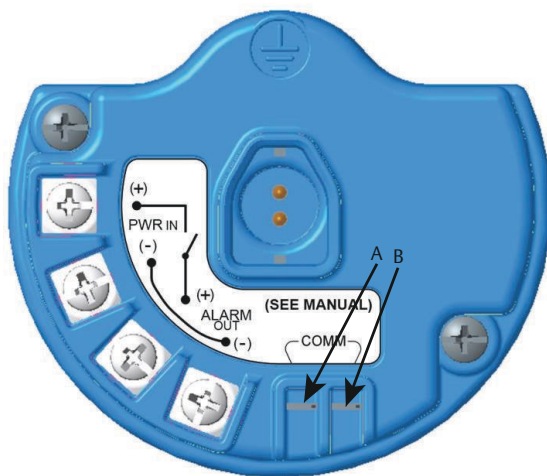
爆発

爆発性雰囲気があるときに COMM 端子への接続を行わないでください。

手順

1. HART® 通信リード線を Field Communicator HART 端子からトランスミッタの端子台の COMM 端子に接続します。

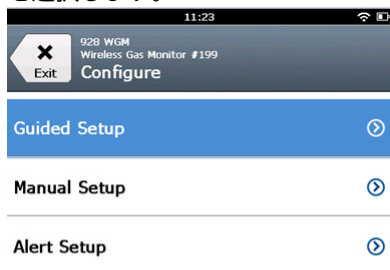
図 5-1: トランスミッタ端子



- A. +COMM 端子
- B. -COMM 端子

2. トランスミッタと Field Communicator 間の通信を確立します。
3. **Home (ホーム)** 画面で **Configure (設定)** を選択します。

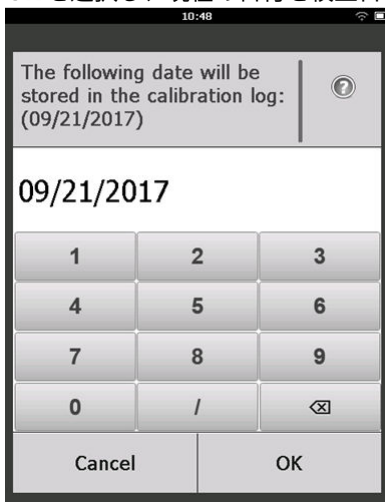
4. **Configure (設定)** 画面で **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** を選択します。



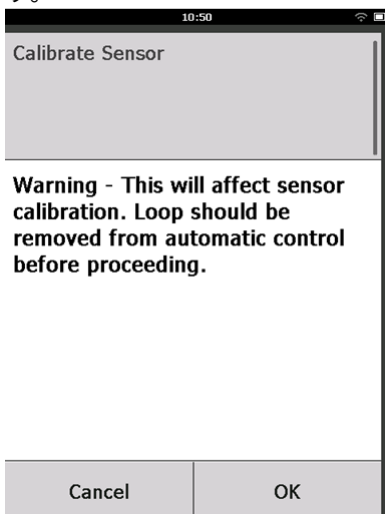
5. **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** 画面で **Calibrate Sensor (センサの校正)** を選択します。



6. **OK** を選択し、現在の日付を校正日として受け入れ、続行します。



7. 警告を確認します。必要に応じて、自動制御からループを削除します。



8. H₂S と CO の校正を行う場合は、センサを清浄な空気にさらして測定値をゼロにします。O₂ の校正を行う場合は、センサを 0% の酸素含有量校正ガスにさらして、「ゼロ」校正値として使用します。周囲の空気に、本機器ゼロ化を妨げる可能性のある微量の標的ガスまたは他のガス (たとえば、エンジン排気からの一酸化炭素) が含まれている可能性がある場合は、次の手順を実行します。
- 検証済みの清浄な空気 (H₂S および CO) のボンベ、または検証済みの 0% の酸素含有量校正ガス (O₂) のボンベ、およ

び校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を用意します。

- b) レギュレータを清浄な空気/割合既知の酸素含有ガスシリンダに取り付けます。



- c) 校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を、ポンペのレギュレータから IP フィルタアセンブリ (部品番号 00628-9000-0001) の接続金具に取り付けます。



- d) 清浄な空気/既知の割合の酸素指定校正ガスをセンサに放出します。

注

本装置に到達するために長い校正チューブが必要な場合は、清浄な空気が校正チューブを通過する間、センサからの応答時間を考慮してください。

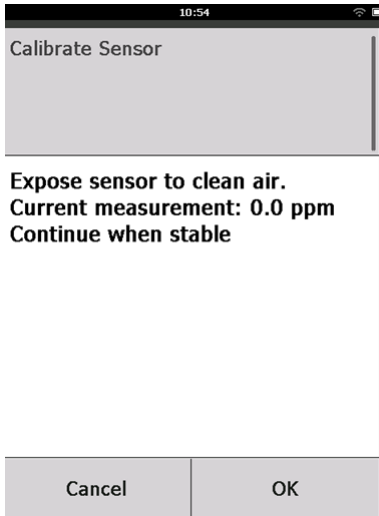
- e) **ステップ 9** ~ **ステップ 12** を完了させます。

f) センサが正しくゼロ調整されたら、清浄な空気 (または割合指定酸素校正ガス) をオフにします。

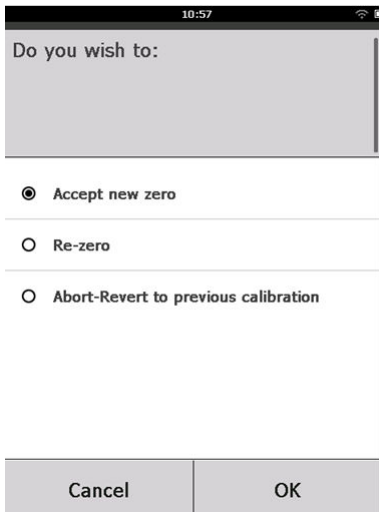
9. ゼロ測定値が安定したら、**OK** を選択します。

注

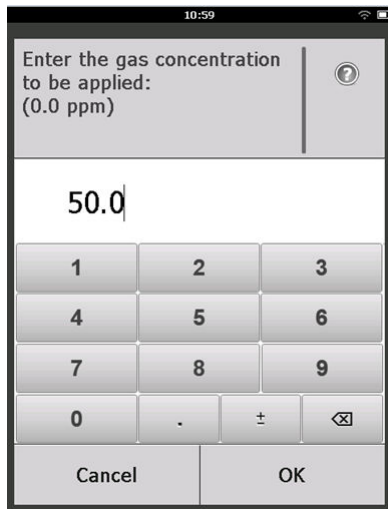
負の測定値が発生する場合がありますが、ゼロ調整中は正常です。



10. Field Communicator がゼロ調整を実行するまで待機します。
11. **OK** を選択して、新しいゼロ測定を受け入れます。
12. **OK** を選択して、新しいゼロを受け入れます。



13. **Calibrate Sensor (センサの校正)** 画面で、校正中に適用される、校正ガスの濃度に対応するガス濃度レベルを入力します。
値は 5 ppm から 100 ppm の間にする必要があります。
酸素については、清浄な空気から 20.9% の酸素を使用します。汚染物質が存在しない場合、この手順は周囲の空気で行えます。



14. **OK** を選択します。

15. 標的ガスの出所にレギュレータを取り付けます。

▲ 警告

有毒ガス

次の手順を実行する前に、調整中に標的ガスが空中に放出されないようにレギュレータが閉じていることを確認してください。



16. 校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を、標的ガスの出所のレギュレータから IP フィルタアセンブリ (部品番号 00628-9000-0001) の接続金具に取り付けます。



17. 標的ガスの出所から標的ガスを放出します。

一貫したセンサ測定を確実にを行うために、毎分 1.0 リットルの流量を推奨しています。

注

デバイスに到達するために長いチューブが必要な場合は、標的ガスが校正チューブを通過する間、センサからの応答時間の待機時間を考慮してください。

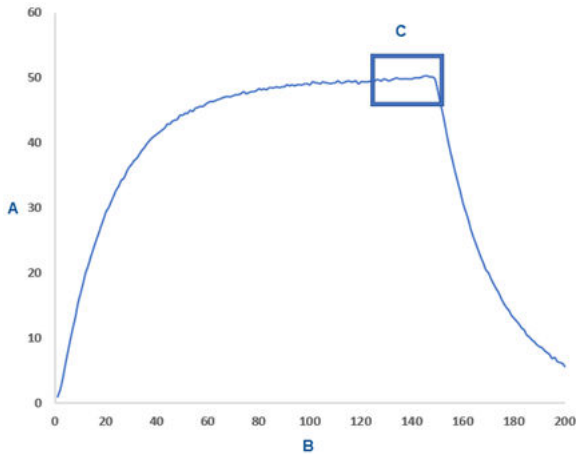
ガス濃度が液晶ディスプレイに記録され始め、校正ガス濃度レベルまで徐々に増加します。デバイスのディスプレイに表示されるガス濃度レベルは、標的ガスの出所のラベルに表示されるものと正確に一致しない場合があります。



18. ガス濃度測定が安定するまで待ちます。

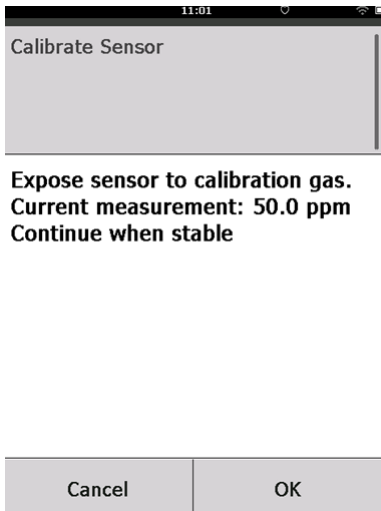
図 5-2 を参照してください。

図 5-2 : 典型的な校正プロファイル

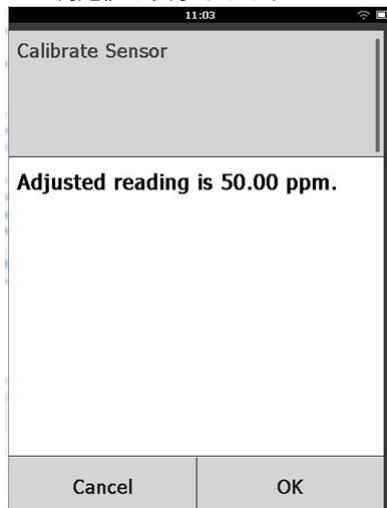


- A. ガス濃度 ppm
 B. 時間 (秒単位)
 C. ガス濃度測定値が安定しました

19. ガス濃度測定値が標的ガス濃度レベル、またはその近くで安定している場合は、**OK** を選択します。



20. Field Communicator の校正が終わるまで待ちます。
校正プロセスが完了すると、Field Communicator は新しく調整された測定値を表示します。

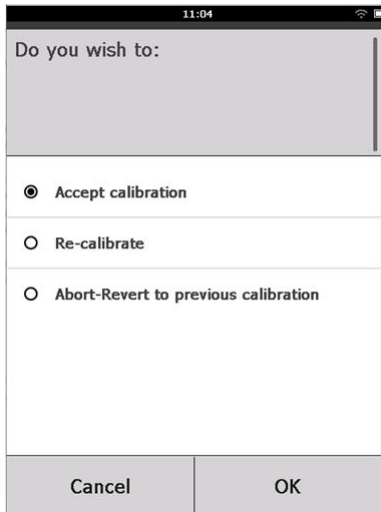


21. **OK** を選択します。

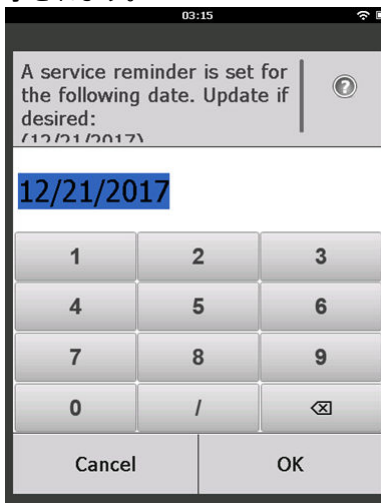
注

センサを校正できない場合は、正しいセンサが取り付けられていること、正しい標的ガスが適用されていること、IP フィルタが詰まっていたり妨げられたりしていないことを確認してください。新しい校正を実行できないセンサは、耐用年数に達した可能性があります。センサを交換して、この手順を繰り返します。Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタの [リファレンスマニュアル](#) の「[ガスセンサを交換する](#)」を参照してください。

22. **Accept calibration (校正を受け入れる)** を選択してから **OK** を選択します。



点検整備案内を設定して有効にしている場合、Field Communicator には **Service Reminder (点検整備案内)** 画面が表示されます。



23. **OK** を選択して、点検整備案内の日付を受け入れるか、別の日付を入力します。

詳細については、Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタの [リファレンスマニュアル](#) の「[点検整備の案内](#)」を参照してください。

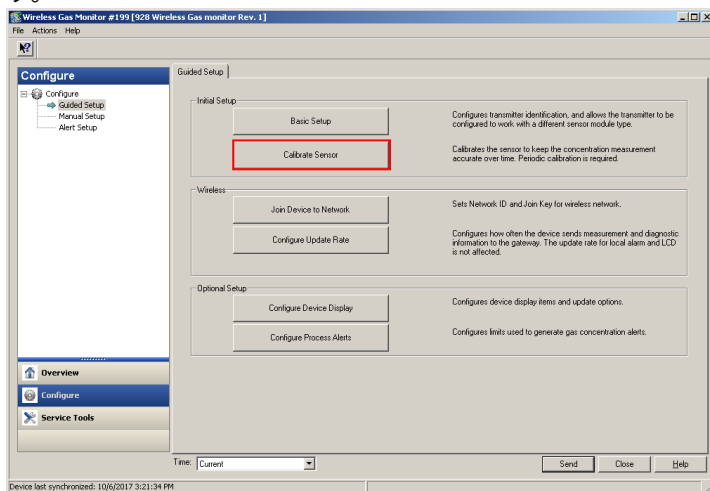
24. レギュレータで標的ガスの流れを遮断します。

25. 標的ガスの出所のレギュレータとセンサ底部の IP フィルタ入口から校正チューブを外します。

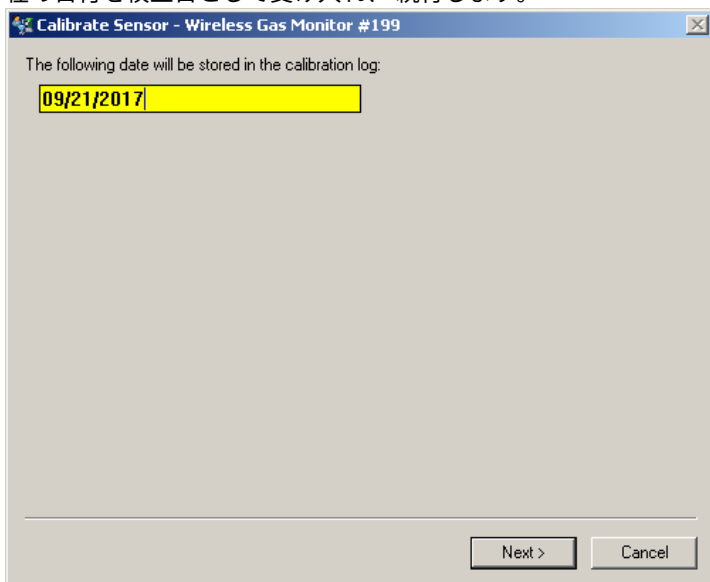
5.2 AMS Wireless Configurator を使用した校正

手順

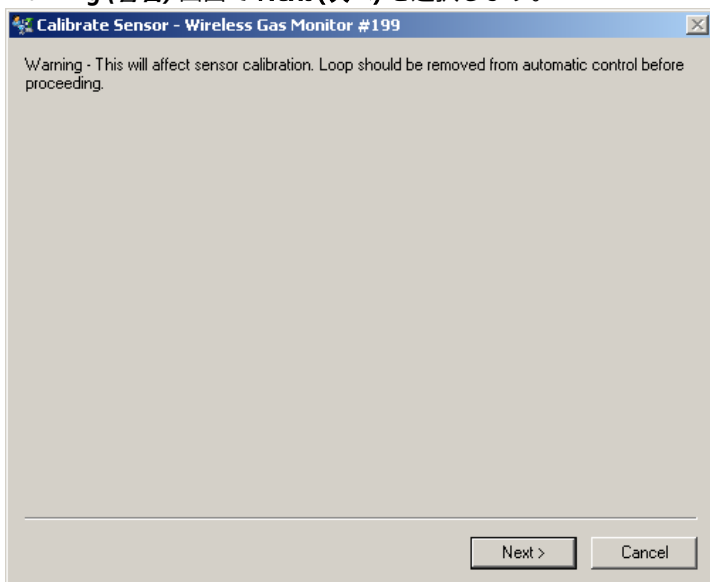
1. **Guided Setup (ガイド付きセットアップ)** タブの **Initial Setup (初期設定)** フィールドで **Calibrate Sensor (センサの校正)** 選択します。



2. **Calibrate Sensor (センサの校正)** 画面で **Next (次へ)** を選択し、現在の日付を校正日として受け入れ、続行します。



3. **Warning (警告)** 画面で **Next (次へ)** を選択します。



4. H₂S と CO の校正を行う場合は、センサを清浄な空気にさらして測定値をゼロにします。O₂ の校正を行う場合は、センサを 0% の酸素含有量校正ガスにさらして、「ゼロ」校正値として使用します。

周囲の空気に、本機器ゼロ化を妨げる可能性のある微量の標的ガスまたは他のガス（たとえば、エンジン排気からの一酸化炭素）が含まれている可能性がある場合は、次の手順を実行します。

- a) 検証済みの清浄な空気 (H_2S および CO) のボンベ、または検証済みの 0% の酸素含有量校正ガス (O_2) のボンベ、および校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を用意します。
- b) レギュレータを清浄な空気/既知割合の酸素含有ガスシリンダに取り付けます。



- c) 校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を、シリンダのレギュレータからセンサ底部の IP フィルタに取り付けます。

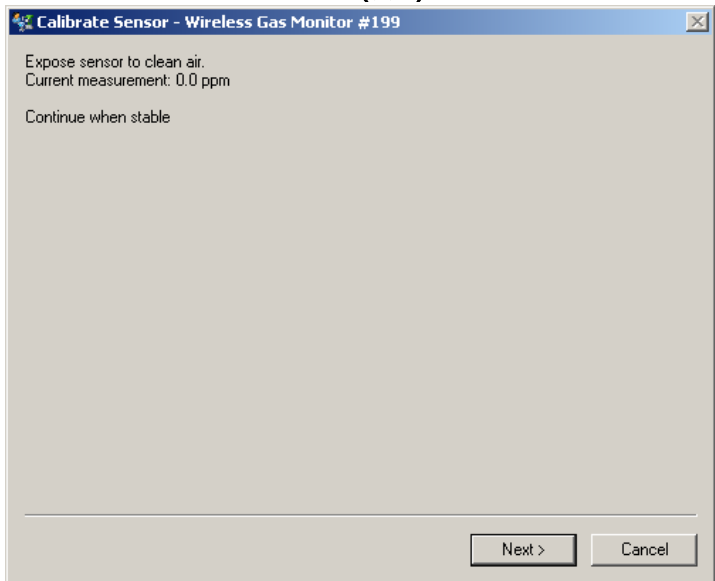


- d) 清浄な空気/既知の割合の酸素指定校正ガスをセンサに放出します。

注

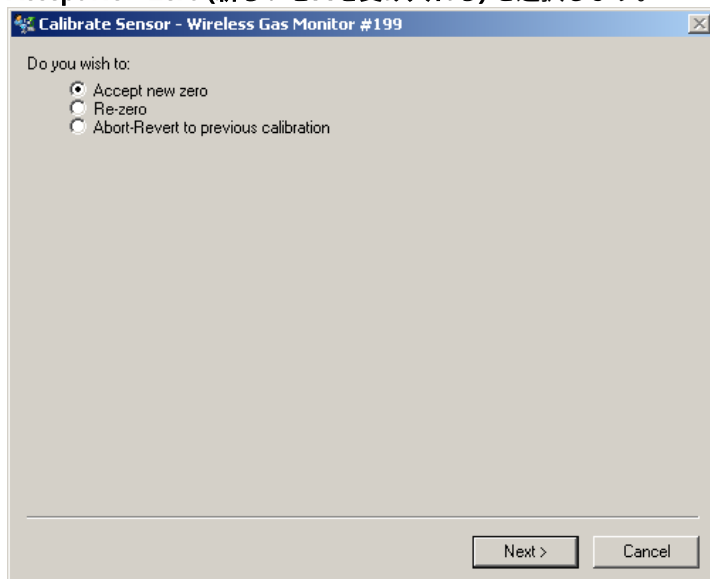
本装置に到達するために長い校正チューブが必要な場合は、清浄な空気が校正チューブを通過する間、センサからの応答時間の待機時間を考慮してください。

- e) **ステップ5～ステップ7**を実行します。
- f) センサが正しくゼロ調整されたら、清浄な空気(既知の割合指定酸素校正ガス)をオフにします。
5. ゼロ測定値が安定したら、**Next (次へ)**を選択します。

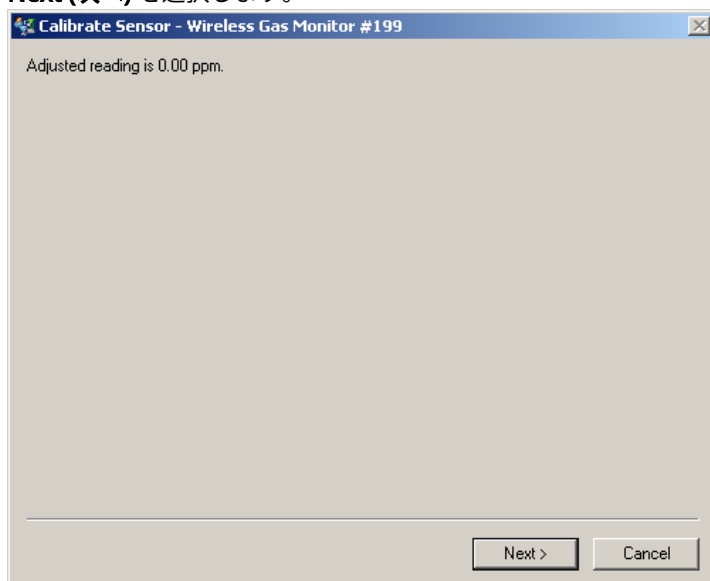


6. **Next (次へ)**を選択します。

7. **Accept New Zero (新しいゼロを受け入れる)** を選択します。



8. **Next (次へ)** を選択します。



9. **Next (次へ)** を選択します。

▲ 警告**有毒ガス**

レギュレータは、校正中にガスを大気に放出することがあります。次の手順を開始する前に、レギュレータが閉じていることを確認してください。

10. 標的ガスの出所にレギュレータを取り付けます。



11. 校正チューブ (PVC チューブ、内径 3/16 インチ、外径 5/16 インチ) を、標的ガスの出所のレギュレータからセンサ底部の IP フィルタ入口に取り付けます。



12. 標的ガスの出所から標的ガスを放出します。

一貫したセンサ測定を確実にを行うために、毎分 1.0 リットルの流量を推奨しています。

注

デバイスに到達するために長いチューブが必要な場合は、標的ガスが校正チューブを通過する間、センサからの応答時間の待機時間を考慮してください。

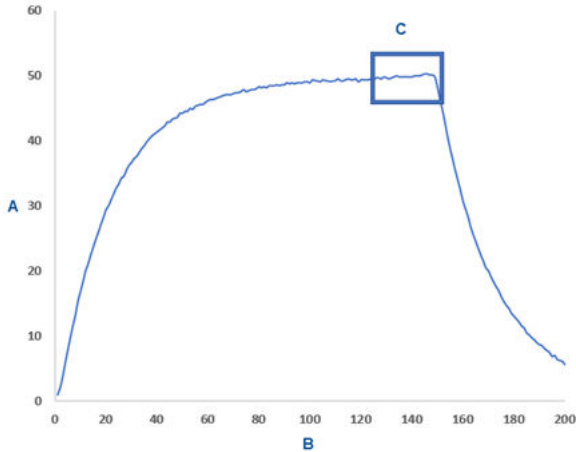
ガス濃度が本機器のディスプレイに記録され始め、校正ガス濃度レベルまで徐々に増加します。本機器のディスプレイに表示されるガス濃度レベルは、標的ガスの出所のラベルに付けるものと正確に一致しない場合があります。



13. ガス濃度測定が安定するまで待ちます。

図 5-3 を参照してください。

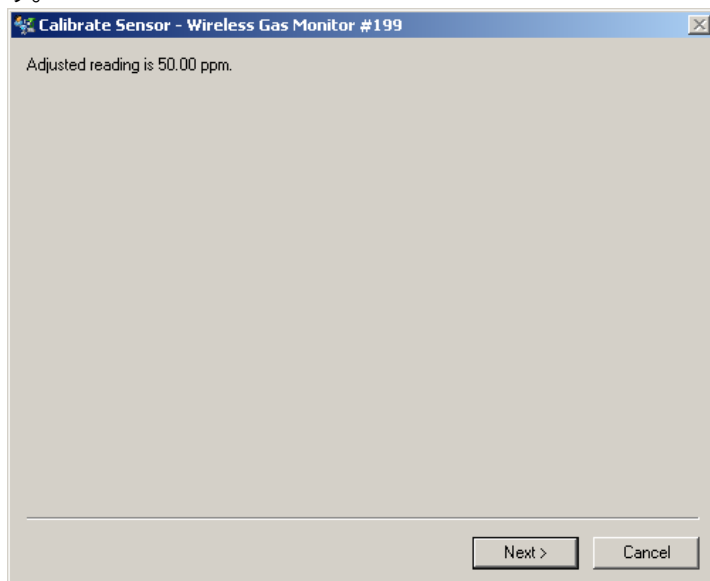
図 5-3 : 典型的な校正プロファイル



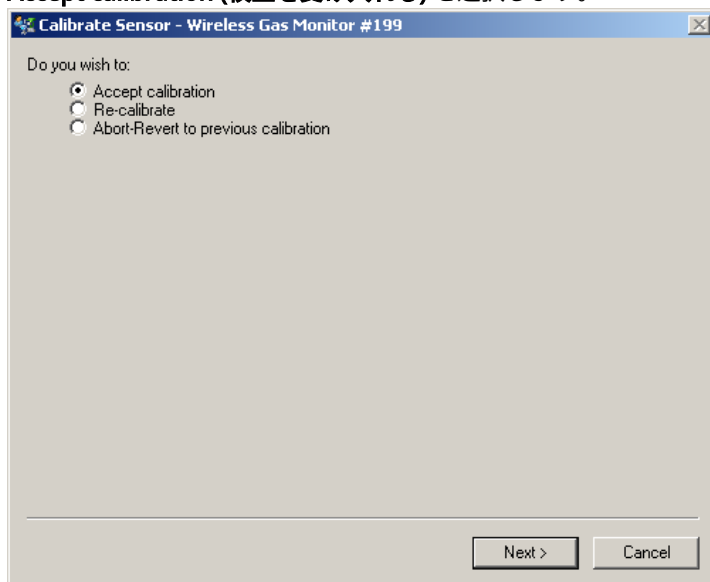
- A. ガス濃度 ppm
B. 時間 (秒単位)
C. ガス濃度測定値が安定しました

14. ガス濃度測定値が標的ガス濃度レベル、またはその近くで安定している場合は、**Next (次へ)** を選択します。

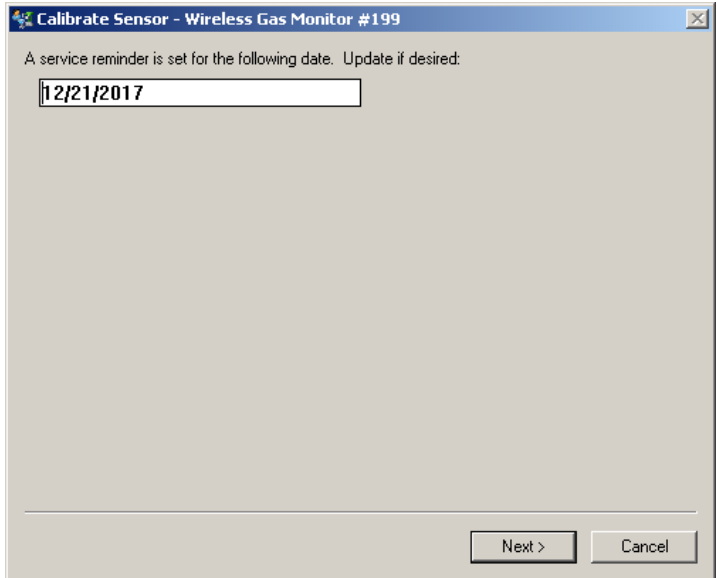
- AMS Wireless Configurator が校正するまで待ちます。
校正プロセスが完了すると、新しく調整された測定値が表示されます。



- Next (次へ)** を選択します。
- Accept calibration (校正を受け入れる)** を選択します。



18. **Next (次へ)** を選択します。
点検整備の案内を設定して有効にしている場合、**Service Reminder (点検整備の案内)** 画面が表示されます。



19. **Next (次へ)** を選択して、点検整備の案内の日付を受け入れるか、別の日付を入力します。
詳細については、Rosemount 928 ワイヤレス・ガス・モニタの [リファレンスマニュアル](#) の「点検整備の案内」を参照してください。
20. レギュレータで標的ガスの流れを遮断します。
21. 標的ガスの出所のレギュレータとセンサ底部の IP フィルタ入口から校正チューブを外します。

6 動作環境を確認する

トランスミッタとセンサの動作環境が、危険区域の使用認可条件に適合していることを確認してください。

表 6-1: 温度ガイドライン

動作制限	トランスミッタの保管制限	センサ保管に関する推奨環境
-40 °F ~ 140 °F	-40 °F ~ 185 °F	34 °F ~ 45 °F

注

センサの電気化学セルには、保管寿命があります。センサモジュールは、過度な湿気や乾燥のない涼しい場所に保管してください。センサを長期間保管すると、センサの耐用年数が短くなる可能性があります。



クイックスタートガイド
00825-0104-4628, Rev. AD
2023年5月

詳細は、[Emerson.com](https://www.emerson.com) をご覧ください。

©2023 Emerson 無断複写・転載を禁じます。

Emerson の販売条件は、ご要望に応じて提供させていただきます。Emerson のロゴは、Emerson Electric Co. の商標およびサービスマークです。Rosemount は、Emerson 系列企業である一社のマークです。他のすべてのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

